

# 8 横浜国立大学

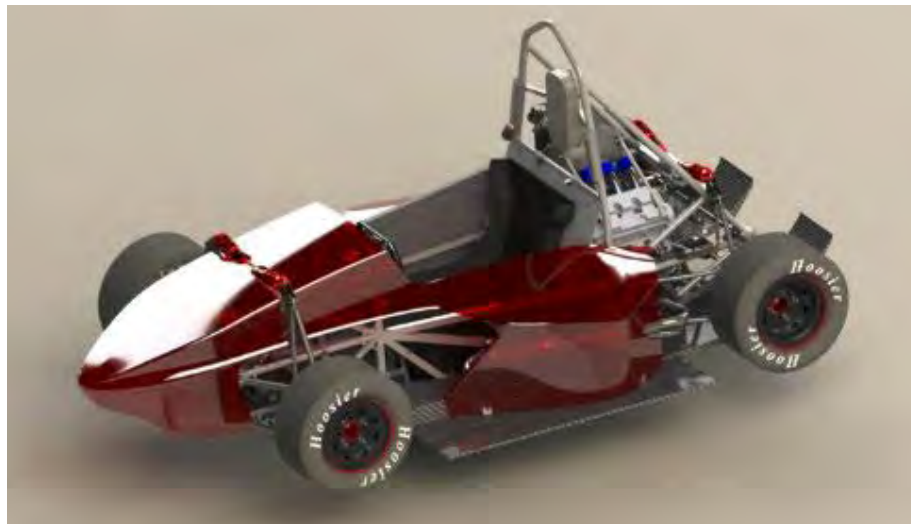
Yokohama National University

## 横浜国立大学フォーミュラプロジェクト

Yokohama National university Formula Project

<http://ynfp.jp>

## 苦境の中での参戦 ～積み重ねた経験と課題～



### 今回の総合結果・部門賞

●総合 16位

### Profile チーム紹介・今までの活動

チームは2003年に工学部の有志4名によって立ち上げられました。2005年の第3回大会より参戦しており、メンバーは学部1～3年生を主体とする若いチーム構成ながら、過去10回の参戦で5度の総合入賞を果たすなどの実績を残しました。現在の目標は全日本大会の優勝、そして海外大会への進出です。

### Team-member チームメンバー

#### 永濑 恭佑 (CP)

佐藤 恭一 (FA)、伊藤 光一郎 (FA)、  
松澤 卓 (FA)

秋山 直輝、井畑 知明、笠原 彬宏、植松 亮裕、  
岡本 優、佐藤 駿紀、鈴木 祐太郎、岡田 亜紀、  
星野 亮哉、堀 雅敬、本田 進、中枝 恵司、  
三井 玲、山本 康平、渡部 愛子、市川 貴之、  
川瀬 幹登、塙 直己、福地 昶幸、古澤 善克、  
加納 智宏

## Presentation

## プレゼンテーション

今年度車両「YNFP-15」はアマチュアレーサーを仮想ターゲットとする学生フォーミュラの原義に立ち返り、車両コンセプトを「商品価値の追求」とし、高い加速性、優れた過渡応答性並びに操作性を追い求めた。このコンセプトを実現すべく考察を重ね、設計においては軽量化を軸とし、高剛性化、低重心化、低慣性化、高出力化、操作性・整備性・セッティング性の確保、高意匠性の実現をめざして行なった。当時の1年生に設計を依存する部分が多かったため、車両を総括するテクニカルディレクターは各担当者とのすり合わせに重点を置き、コンセプトの実現に努めた。

ロングホイールベース、ワイドトレッド、600cc4気筒エンジンの縦置き、シャフト駆動など基本的なパッケージングは昨年度から踏襲し、更なるブラッシュアップ、正常進化を図った。新規技術の導入としては3Dプリントでのサージタンク製作や、CFRPを用いたサスペンション部品、サイレンサー、サイドパネルの導入などが挙げられる。結果、昨年比7kgの軽量化を実現し、優れた走行性能を発揮できる車両を開発した。

3月に国内最速レベルでシェイクダウンを達成し、500km近くに及び試走を重ね、多くの実践・経験を積むことができたが、7月末に発表されたコスト審査の事前書類落ちを受け、目標としていた総合優勝が絶望的となり、苦境の中での大会参戦となった。

## Participation report

## 参戦レポート

大会初日、技術車検・チルト検査までは順調に進んだものの、新たな特性での計測が行なわれた騒音検査に苦戦し、対応に追われました。その後修正を終え、昨年課題となったブレーキ審査は無事通過し、動的審査へと駒を進めました。

大会2日目、コスト審査は参加が認められないため、他2つの静的審査に挑みました。両審査とも昨年より順位・得点を伸ばすことができたものの、プレゼンテーション審査は6位に留まり悔しい結果となりました。一方、デザイン審査では5年ぶり2回目のデザインファイナル進出を果たしました。現パッケージングを採用した一昨年以来、年々得点を伸ばしてきており、正常進化をめざして取り組んできた結果が報われました。

大会3日目、入賞をめざし臨んだ動的審査ですが、セッティングの調整不足や荒天による審査中止などもあり得点を伸ばすことができず、満足のいく結果とはなりません。大会最終日はエンデュランスに出走し、3年連続の完走を果たしました。しかしながら、足まわり部品に不安を残したままの走行となってしまう、8位という結果に終わりました。総合成績では16位と目標には大きく届かず、悔しい思いをしました。この悔しさをバネに、捲土重来を期します。

一方、若いチーム構成の中でメンバーは数多くのトラブルに直面しながら経験を重ね、高いチーム力・現場対応力を得ることができました。来年の飛躍にご期待ください。

最後になりましたが、大会開催にご尽力くださった関係者の皆様、チームをサポートして下さった先生方・先輩方・スポンサーの皆様へ厚く御礼申し上げます。

## Sponsors スポンサーリスト

アールエスコポーネツ、石原金属化工、エヴォルテックジャパン、エーシーエム、NTN、オートデスク、日本自動車大学校、金子歯車工業、アイ・アール・エス、IDA、エフ・シー・シー、開明製作所、キノクエンタープライズ、クロスロード小山、コイワイ、神戸製鋼所、小松製作所、ジーエーティー、シンクフォ、ダイナテック、タンロ、東日製作所、東邦通信システムズ、日本ヴァイアグレイド、ネクスト、深井製作所、富士精密、マキタ、ミスミグループ本社、ミトヨ、関東工業自動車学校、協和工業、呉工業、サイバネットシステム、三和メッキ工業、新星機工、ジュニアモーターパーククイック羽生、住友電装株式会社、ゼット・エフ・ジャパン、ソリッドワークス・ジャパン、大成プラス、タイヤフィッター横浜都筑店、田畑ラヂエーター、東洋電業、トルンプ、滑川軽鋼、ニイガタ、MOTUL (テックニールジャパンKK)、日信工業、日本精工、日本ドライケミカル、日本発条、本田技研工業、三井金属アクト、柳瀬、神奈川厚板、樹脂リードモデル、シンコー、日研製作所、安久工機、横浜高周波工業、横浜国立大学名誉教員会

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/8.html>